

寒川町子育て施策充実に向けた 提 言 書

令和6年2月20日
文教福祉常任委員会

目次

1. 子育て施策の充実を政策提言に設定する理由
2. 議員間討議の進め方と日程
3. 子育て支援施設スタッフとの意見交換
4. 子育て支援施設先進地視察
5. 子育てサークルとの意見交換
6. 課題抽出
7. 政策提言項目

文教福祉常任委員会

- ◎ 委員長 ○副委員長
- ◎佐藤一夫 ○橋本修一 吉田悟朗 岸本 優 柳下雅子 関口光男
- 茂内久代 柳田 遊 新村賢志 山田政博（書記）

1. 子育て施策の充実を政策提言に設定する理由

寒川町は子育て環境で「湘南地域で最も子育てしやすいまち」を目指していることやこども家庭庁が2023年4月1日に設置される背景も踏まえ、子育て支援センター、ファミリーサポートセンター等の子育て支援事業所の現状そして課題や必要な機能などを整理し、課題解決に向けて政策提言に繋げていく。

※子育て支援センター、ファミリーサポートセンターは厚生労働省から平成27年4月より「子ども・子育て支援制度」の中の「地域子ども・子育て支援事業」の一つに位置づけ。

令和5年3月30日文教福祉常任委員会

3. 子育て支援施設スタッフとの意見交換

日時： 令和5年5月11日（木） 13:30～16:00
場所： 第一委員会室及び子育て支援センター
出席者： 文教福祉常任委員会委員 議会事務局
子育て支援センタースタッフ ファミリーサポートセンタースタッフ



3. 子育て支援施設スタッフとの意見交換

スタッフからの声

立地場所について

駅から遠い

大人で徒歩20分かかる

町内1か所である

他の地域からだとう遠い

センターまでの交通機関が少ない

駅から坂道があり疲れる

Webでの対応はしていない

保護者に対する取り組み

サークルが少ない(2団体)

保護者同士の情報交換が少ない

男親同士のイベント要望がある

センターのイベント実施

ウクレレ鑑賞会

お話会、紙芝居

ベビーマッサージ、情報交換等

障がい者相談事業連携が難しい

対応できないケースがある

情報発信の方法SNS

妊娠中の方などに届けたいが

子育ての選択肢が増えた

保護者の選択肢が固定できていない

子どもの発達が気になる

町内に産婦人科がない・不便

利用者からの声

子どもの預かり支援

支援センターでは出来ない

まかせて会員知らない方に預けるには不安

町に要望している

まかせて会員の不足

共働や働いている方が多い

時間に余裕がない方が多い

DVなどの相談もある

2人目は半額になるなど預かり料金に課題

障がい者相談

障がい児が増えている

送迎の要望や相談が多い

おねがい会員から要望

日曜日に預けるところがない

毎週預けたい

児童クラブに入れない

わかったこと

・子育て支援センターと行政との連携強化の必要性(妊娠期・子育て期間の情報交換)

4. 子育て支援施設先進地視察

視 察 先

令和5年7月25日13:30～京都府舞鶴市役所
舞鶴市子育て交流施設「あそびあむ」現地視察

視 察 目 的

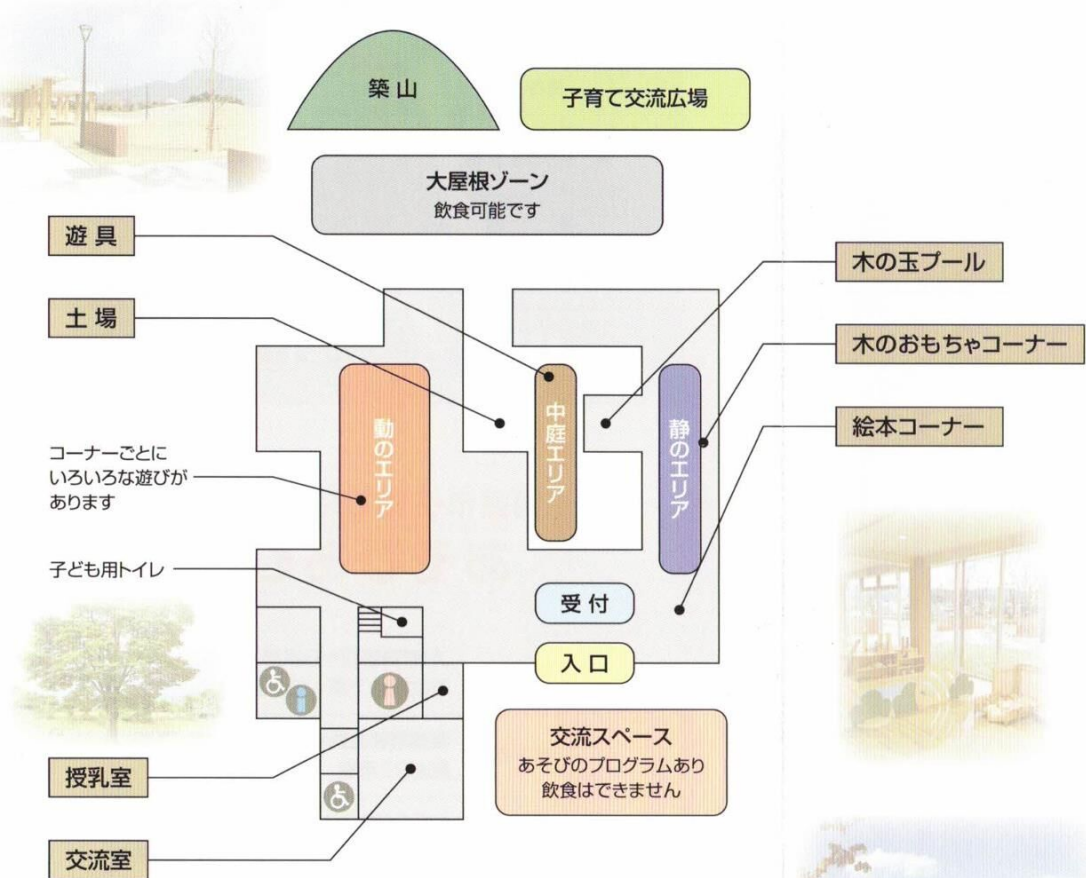
子育て施策と施設の先進事例を学ぶ。

視察事業の特徴

令和4年度より、福祉・子ども・保健・人権・教育委員会を含め子どもの事を考える推進本部を設置。児童福祉法改正により、国の指示(努力義務)に基づいて令和6年度子ども家庭センター設置を検討。子育て支援基幹センターが地域子育て支援拠点を統括し、保健センターや子ども相談センターに繋ぎ、連携して切れ目のない支援を行っている。民協による赤ちゃん事業を通し、子育て世代と地域を繋いでいる。地域から転入者が多く、産前産後訪問支援事業(ファミサポ)を通して、1歳になるまでの産後の大変なお母さんを対象に育児、沐浴、買い物、上の子の面倒等を見ている。あそびあむ等を通して、子ども・親への多面的な支援を行っている。(一時預かり事業 フレアス舞鶴)

4. 子育て支援施設先進地視察

あそびあむレイアウト (パンフレットから)



※利用対象者は制限ありません。
ただし乳幼児・小学校1・2年生については保護者の同伴が必要です。
※館内はお茶、水以外の飲食は禁止です。食事等は指定の場所でおとりください。



4. 子育て支援施設先進地視察

行政視察での学びから寒川町の子育て事業に期待される効果

「フレアス舞鶴」では、子育て中のお母さんたちをサポートするため、子どもの短時間一時預かりを実施している。寒川町でも子育て支援センターへの一時預かりのニーズが多く、受け入れ体制も整備されているため、速やかに移行出来ることが期待される。

子育て交流施設「あそびあむ」を現地視察した事で、今後、寒川町の公共施設再編複合化を進めていく上で、子育て施設のイメージが具現化され、現場の視点でより積極的な意見や提案が期待される。

舞鶴市では新生児訪問とは別に、こんにちは赤ちゃん事業として、おおむね生後4か月までの赤ちゃんのおられる家庭に、地域の民生児童委員・主任児童委員が訪問している。民間の人材を効果的に活用し、子育て世代と地域を繋いでいる。今後の寒川町の子育て支援の調査・研究に繋がることが期待される。

令和4年度より、子どもの豊かな育みを支える環境づくり推進本部を設置。福祉・子ども・保健・人権・教育委員会など、子どもに関わる各課を横断し、子ども及び子どものある家庭を取り巻く課題に対する施策の企画立案及び総合調整を行っている。寒川町においてもより各課の連携、一体的に推進する体制の調査・研究に繋がることを期待される。

担当課をはじめ、子どもに関わる団体やサークルとの交流や会議について、より広く回数を重ねるなど、子ども子育て支援法等を踏まえながら、調査・研究に繋がることを期待される。

5. 子育てサークルとの意見交換

日時： 令和5年11月16日（木） 10:00～11:00
場所： 北部福祉会館
出席者： 文教福祉常任委員会委員 議会事務局
子育てサークルチューリップの会

○意見交換のまとめ

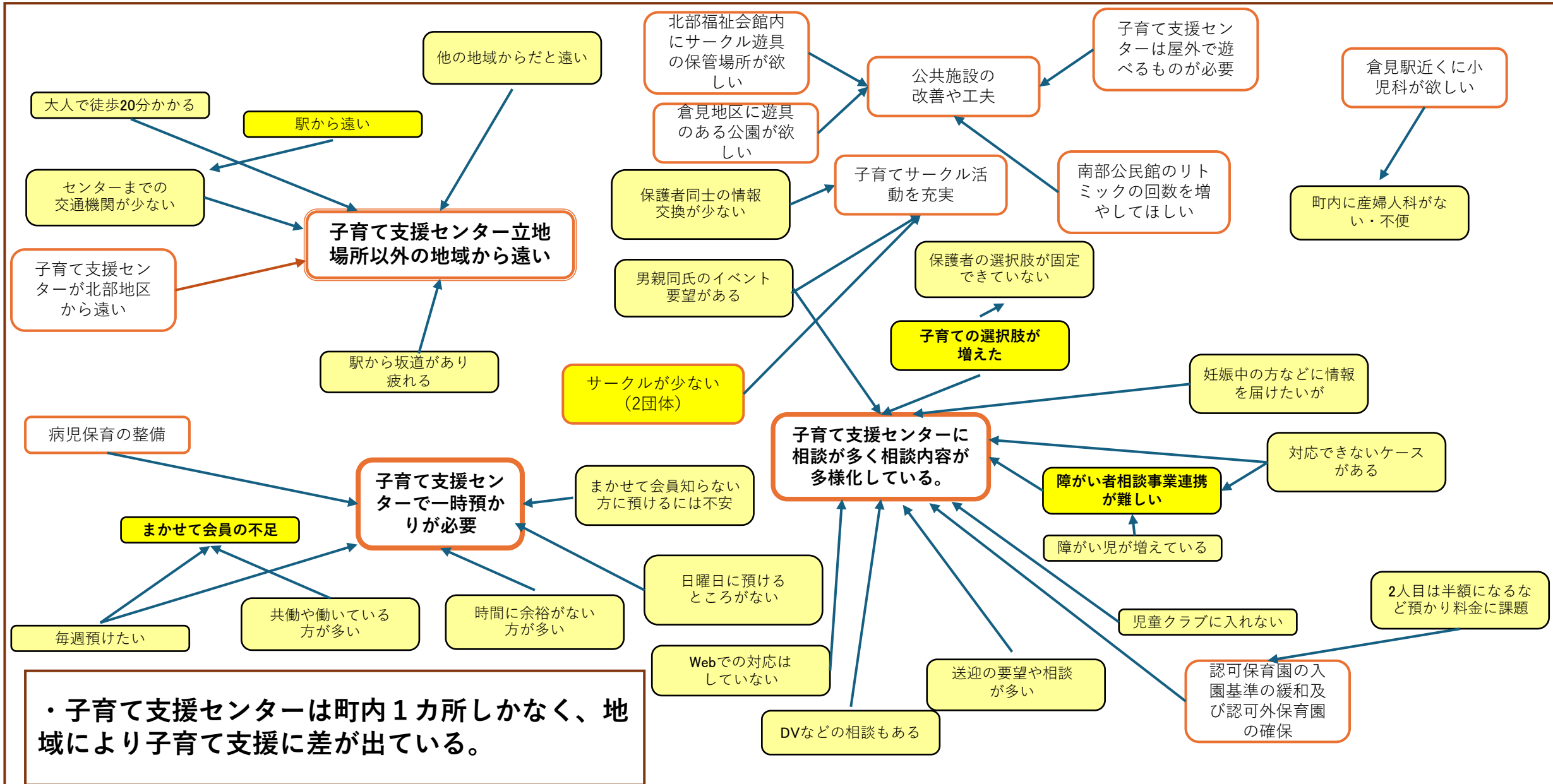
- ・ 子育てサークルの存在は、子どもが同じ年代（2歳くらい）だと遊ぶ機会がなかったり、親の交流の場として必要である。
- ・ サークル運営にPRや会員募集に力を入れるより、親が子どもとともに気軽に遊べるサークルである。

【要望】

- ・ 北部福祉会館内にサークル遊具の保管場所が欲しい
- ・ 北部福祉会館駐車場から来る道路の交通量が多く不安を感じる
- ・ 子育て支援センターが北部地区から遠い
- ・ 子育て支援センターで一時預かり制度が欲しい
- ・ 子育て支援センターは屋内ばかりでなく屋外で遊べるものが必要
- ・ 倉見地区に遊具のある公園が欲しい
- ・ 倉見駅近くに小児科が欲しい
- ・ 病児保育の整備
- ・ 認可保育園の入園基準の緩和及び認可外保育園の確保
- ・ 南部公民館のリトミックの回数を増やしてほしい



6. 課題抽出



・子育て支援センターは町内1カ所しかなく、地域により子育て支援に差が出ている。

7. 政策提言項目

- 子育て支援センター機能を既存の子育て支援センターに加え北部地域・南部地域にも設置し、町内の子育て施策環境の均衡を図ること
- 多様な働き方に対応した子どもの預かり事業は子育て支援センターの一時預かりに向け条件整備を図ること
- 子育て支援施設の設備充実を図ること